

転ばぬ先の 地図活用 豆知識



第5回 非常に快適になった定番地図ソフト「QGIS ver3」

古川 玲

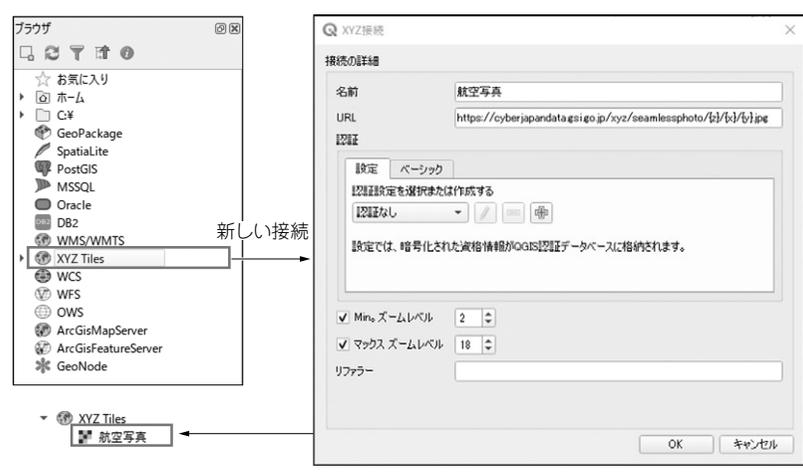


図1 定番地図ソフトQGISのver3は国土地理院の地図タイル取り込みが標準機能になっていて便利
QGISのXYZ Tilesメニューの下に利用可能な選択肢として国土地理院の地図タイル「航空写真」を追加した

● 非常に快適になった定番地図ソフト「QGIS ver3」

定番の地図情報システム (GIS) ソフトウェアに QGIS があります。QGIS は地図に関するデータの閲覧、編集、分析機能を持つオープンソース・ソフトウェアです (本誌2019年4月号特集「国土地理院から始める地図とIoT」で紹介)。

2018年末の時点では、QGIS ver3は出て間もなく、対応しているプラグインが少ないという事情がありました。2019年4月号特集ではQGISのver2を利用しました。

ですが、この紹介できなかつたQGIS ver3は、全体的に動作が軽くなりました。特に特集記事にて紹介した「国土地理院の地図タイルを取り込み、表示する」という機能に標準的に対応しており、QGIS ver2にてOpen Layer Pluginをインストールして利用する場合に比べて動作が非常に軽快になっています。

今回はQGIS ver3とタイル地図の利用方法について紹介します。

● インストール

QGIS ver3は下記URLからダウンロードできます。
<https://www.qgis.org/ja/site/forusers/download.html>
スタンドアロン・インストーラを入手し、実行します。

● 標準機能になった国土地理院の地図タイル取り込みを試す

地図タイルはQGISの左上のブラウザ・パネルのXYZ Tilesメニューで設定できます。例えば国土地理院地図タイル⁽¹⁾などが利用できます。本誌2019年4月号で紹介した「航空写真」の場合、地理院タイル一覧に記載されたURLとズーム・レベルを用いて図1のように設定します。するとXYZ Tilesメニューの下に、利用可能な選択肢として航空写真が追加されます。これをそのままドラッグ&ドロップすることで、自身のプロジェクトに追加できます。

少し地図を移動したり、拡大/縮小などを試してみると、QGIS ver2でOpen Layer Pluginをインストールして使った場合と比べて、格段に動作が軽くなっていることを体感できます。

◆参考・引用*文献◆

- (1) 国土地理院地図タイル一覧。
<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>.

ふるかわ・れい